

教育目標および「三つの方針」

■ 理念・目的

創価大学は、グローバル化の加速に伴いかつてない変化をしている国際社会を牽引する創造的「世界市民」(Global Citizenship)を養成するために、「平和で持続可能なグローバル社会の構築」に関する高度な研究の推進と、その研究成果に基づいた教育プログラムの実施を趣旨とする大学院修士課程「国際平和学研究科」を設置する

■ 教育目標

国際平和学研究科は以下の教育目標を掲げています。

1. グローバル化を深める社会が直面する様々な政策課題を、自他共の幸福と繁栄を目指す世界市民の視座から、創造的に解決する人材の輩出
2. 「国際関係論」と「平和学」の両研究分野における高度な学識とスキルを有する人材の輩出

■ ディプロマ・ポリシー

国際平和学研究科では、研究科の教育目標のもと、以下のような能力（ラーニング・アウトカムズ）を有する人材を育成します。

1. グローバル化に伴い社会の中で深まる各種の紛争・対立・矛盾を、平和的かつ創造的に解決する能力
2. 「国際関係論」と「平和学」の両研究分野を英語で学び、国際的に通用する学際性・専門性とコミュニケーション能力
3. グローバル化の進展と影響が顕著な国内外の企業や政府・非政府機関で得た各自のキャリアを通じ、平和で持続可能なグローバル社会構築に向けて、実現可能な具体的政策や施策を構想する能力

■ カリキュラム・ポリシー

1. 従来の国際関係論研究と平和学研究が対象としてきた国家・非国家主体間の様々な形態の紛争・社会的葛藤についての研究と教育を行う。
2. 英語を教育言語として使用する
3. 学生個々人のレベルにおける政策構想力と提言力の涵養を重視して、少人数教育を実践する
4. 多様な価値観に対する寛容の態度と同時に自らの価値観の確立を両立させる Global Citizenship の視座を涵養する

■ アドミッション・ポリシー

国際平和学研究科は、次のような資質を持った人材を対象として入学者選抜を行います。

1. 本研究科の目的を理解し、明確な進学目的と本研究科のプログラムで学ぶ強い意欲を持つ者
2. 人文・社会科学分野における学士課程修了レベルの知識と研究能力を持つ者
3. 本研究科における教育研究の遂行に必要な英語力を持つ者